

抗バイオフィルム試験の受付開始のご案内

ケケンでは、新たに ISO 4768 プラスチックおよびその他の非多孔質表面上の抗バイオフィルム活性の測定方法の受付を開始いたしました。

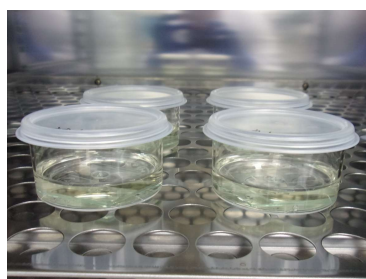
〇バイオフィルムとは

バイオフィルムは細菌などの微生物が自らを守るために形成する膜状の物質で、キッチン・浴室などで発生するぬめりの原因となります。

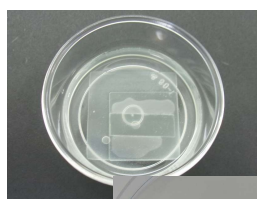
バイオフィルムが付着すると不衛生だけでなく、設備の劣化など様々なリスクが生じます。



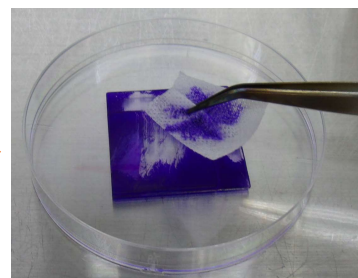
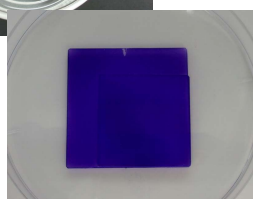
試験方法



3×3cmの試料をガラス板に張り付け、菌液(表皮ぶどう球菌)に浸して48時間培養する



培養後に付着したバイオフィルムを染色する



染色したバイオフィルムを水溶性不織布で拭き取って回収し、吸光度を測定する

以下の式により抗バイオフィルム活性値(%)を算出

$$\left(1 - \frac{\text{加工品の吸光度}}{\text{未加工品の吸光度}} \right) \times 100 = \text{抗バイオフィルム活性値(\%)}$$

値が大きいほど、バイオフィルムの付着が抑制されることを示します

内容についての質問がございましたら、お近くの事業所にお問い合わせ下さい。
ホームページ:<https://www.jwif.org>

